公益社団法人 全国宅地建物取引業協会連合会

家の提供で地域の人を笑顔に

全国に約10万社あるハトマークの不動産会社は、地域に根付いた多様な事業を行っています。全宅連はそうした事例を集めて、不動産会社が地域でどのような役割を果たしていくべきかを調査・研究しています。たとえば高齢者や障がいがある人が安心して暮らせる住宅の仲介や、空き家を活用した地域交流の活性化などです。不動産会社が家を提供して生活者が笑顔になり、その活動を見た若者が不動産業界を志し、日本が元気になるような社会の実現を目指しています。

◀エリアリノベーション（地域の価値を高める）スクールでの街歩き（大阪市阿倍野区昭和町）

▶まちづくりや地域活性化について考えるタウンマネジメントスクール（和歌山県）